

桶樽の魅力を目撃せよ

秋田杉桶樽サミット

有識者による講演と
パネルディスカッション

木のおもちゃで遊んだり、
樽の鏡割りを体験しよう!

おひつごはんの試食や
木桶仕込みの酒の試飲も!

新政酒造の大桶や
桶樽製品の展示、桶樽製作実演

桶樽製品(比内地鶏の鶏めし等)
を抽選でプレゼント

参加無料



司会

ミス日本みどりの女神
藤本麗華

日時 2019年

10月20日(日)

11時00分~15時00分

場所 秋田拠点センターアルヴェ

主催:秋田杉桶樽サミット実行委員会

(林野庁東北森林管理局、秋田県、秋田県森林組合連合会、秋田県木材産業協同組合連合会、秋田県素材生産流通協同組合、秋田杉桶樽協同組合)

後援:秋田市、能代市、北秋田市、大館市、秋田魁新報社、朝日新聞秋田総局、毎日新聞秋田支局、読売新聞秋田支局、河北新報社、NHK秋田放送局、ABS秋田放送、AKT秋田テレビ、AAB秋田朝日放送

支援:(公財)国土緑化推進機構、(一財)日本森林林業振興会秋田支部

展示・体験コーナー

【プログラム】(予定)

11:00 開会
12:00 式典
12:45 基調講演
13:45 パネルディスカッション
15:00 閉会

桶と樽の
製品紹介と展示

新政酒造
醸造桶展示

木のおもちゃ
体験

おひつ
ごはん・鶏めし試食

【基調講演】(パネルディスカッションにも参加)

秋田杉の桶や樽を科学する

足立 幸司 (秋田県立大学 准教授)

博士(農学)。専門分野は木材物理と接着を基盤とした木材加工学。地域の森林資源とものづくりネットワークを活かした新素材や新製品の開発に取り組んでいる。



醸す桶樽

佐藤 祐輔 (新政酒造株式会社 社長)

秋田市生まれ。東京大学文学部英文科卒業。30歳で日本酒の魅力に惹かれ、広島の「(独)酒類総合研究所」研究生を経て、2007年に「新政酒造」に入社。2012年から新政酒造8代目として現職に。



【パネルディスカッション】

桶樽が創る味

八木橋 秀一 (株式会社花善 社長)

出身地は東京ながらも祖父母が経営する花善に1997年に入社。2012年に八代目社長に就任し、変わらぬ味を守り続ける一方、パリへの進出など秋田から世界への発信にも力を入れる。

醸す桶樽

石川 果奈 (有限会社石孫本店 専務)

創業1855年の石孫本店で生まれ育ち、伝統行事が数多く残っていた幼少期より醸造蔵の日常に親しんできた。1998年に入社。新製品の開発等に携わっている。

木桶でおもてなし

小山田 優 (株式会社強首縦峰苑 専務)

日本秘湯を守る会の宿六修業後秋田へ帰省。築103年の庄屋屋敷(旧小山田家邸宅)を利用した温泉旅館に従事。「不便さを楽しむ事も文化の一つ」をモットーに旅館業を通じて昔を今に伝える。

桶樽はこう生まれる

清水 康孝 (秋田杉桶樽協同組合 理事長)

後継者が不足との新聞記事を読み、地場産業に携わりたい一心で、25歳で地元桶樽工房で4年間の修業後、独立。現在は、農業と二足の草鞋を履き、「現代の暮らしに合う桶のかたち」を追求。

桶樽の木、秋田の木

瀬川 貴志 (秋田県銘木青年会 会長)

瀬川銘木三代目社長。日本全国を巡り、各地の良材原木を集め銘木を製材。今後の日本全国の森林・銘木の必要性を説きながら活発に活動している。

コーディネーター

鈴木 信哉 (元中部森林管理局長)

上小阿仁村生まれ。林野庁入省。木材産業課長、森林総合研究所理事を務めた後、退職。現在はノースジャパン素材流通協同組合の理事長として、国産材振興のため活発に活動を展開。

木桶仕込みの酒の試飲整理券を
11:00受付にて配布します!

先着
200名

【お問合せ先】

事務局:秋田杉桶樽協同組合

Tel.018-883-1191

Email:oke-taru@outlook.com

【会場アクセス】

- 秋田駅直通
徒歩3分
- 秋田中央ICより
車で15分

